

# ゴワッパー5 ゴーダム



『ゴワッパー5 ゴーダム』（ゴワッパーファイブ ゴーダム）は、1976年4月4日から同年12月29日まで、朝日放送（ABC）やNETテレビで全36話が放送された、タツノコプロ制作のロボットアニメ。放送日時は第1話から第23話までが毎週日曜日19:00 - 19:30、第24話から第36話までが毎週水曜日18:00 - 18:30。

## 【概要】

タツノコプロ初のロボットアニメであるとともに、女性がリーダーになった初のロボットアニメでもある。少年たちによって結成されたグループが悪と戦うという設定は、タツノコ作品では『科学忍者隊ガッチャマン』や吉田竜夫、九里一平の漫画作品にも多く見られる。主役ロボットのゴーダムとともに活躍する主人公たちを中心として明るい主題歌とシチュエーションを持つ作品だが、物語にはシリアスな要素も含まれており、中には後味の悪い結末のエピソードも存在する。放送途中で、日曜夜から水曜夕方に移動。制作局の朝日放送とキー局のNETテレビの全国ネット枠の編成事情により、制作局が朝日放送からNETテレビに変わっている。後半はゴーダムを合体ロボットとして活躍の幅を広げようとテコ入れが行われたが、視聴率は回復せず3クールで終了した。本作以降、NETテレビ→テレビ朝日でのタツノコ作品は、テレビ朝日制作では『昭和アホ草紙あかぬけ一番!』まで9年間、朝日放送制作では『光の伝説』まで10年間、それぞれ途切れている。また、本作に限らず、NETテレビ→テレビ朝日系列で放送されたタツノコ作品は視聴率で苦戦した作品が多い。タツノコプロが所有する資料によれば、平均視聴率は4.1%。ちなみに、日曜19時台前半枠にアニメ番組が放送されたのは、朝日放送では1956年12月に開局して以来初めて、NETテレビでは1962年1月に終了した『続々 珍犬ハックル』以来14年3か月ぶり。本作タイトルおよび少年たちのグループ名の「ゴワッパー」とは、「五童（ごわっぱ）」すなわち「5人の小童（こわっぱ）」である。当初から5人の少年少女（子供たち）を主役級の扱いとしていた本作の名称は、企画時に「アバレンジャー」が候補として挙がっていた。この名称は、本作の初回放送以前における番宣メディアのいくつかで用いられている。その後、1981年放送のタツノコ作品『ゴールドライタン』の企画タイトルとして使用された。なお、正式な番組名として使用された2003年放送のスーパー戦隊シリーズ第27作『爆竜戦隊アバレンジャー』とは無関係。前期オープニング映像にはカットの順番にミスがあり、ゴーダムがホーガンダーを発射するとネンドロイドたちがミサイルの爆発で吹き飛び、ゴーダムがミサイルを発射するとネンドロイドたちがホーガンダーで叩き潰されている。劇伴音楽には、本作と同じくボブ佐久間が担当した『宇宙の騎士テッカマン』のものが一部流用されている。ストーリーの展開上、ゴーダムはシリーズ途中で合体ロボットとなるが、ゴーダムの玩具には発売当初から合体・変型機能が備えられている。色指定を担当した岡嶋国敏によると、ゴーダムの配色は当時のタカラの社長が、タバコの銘柄であるラクの配色をそのまま用いたものであるという。1990年代中ごろにLD-BOXが、2005年にDVDが発売された。発売元はコロムビアミュージックエンタテインメント。

## 【あらすじ】

皇帝ジゴクダーが地底魔人を率いて、地球侵略を開始した。探検がてら潜入した無人島・奇顔島で、巨大ロボット・ゴーダムを発見した洋子たち5人の少年少女「ゴワッパー5」は、国際機関の一員・志摩仙太郎の協力を得て、ジゴクダーと戦う。前半は暗躍するドロシヤ軍団とゴーダムの孤独な戦いを描くが、後半は地底魔人の存在が白日の下に晒され、地上各国軍の参入で地底と地上の全面戦争になっていく。

## 【ゴーダム】声 - 家弓家正

大洗博士が地底魔人と戦うために開発した、全高30m 重量5000t（DVDのパフレットには2000tとある）を誇る、巨大ロボット。頭の内部が広大な操縦席兼司令室となっており、乗降は足先の他、丸ごとドアとなっている鼻部分からも行なう（後期エンディングで、鼻が下に引き込まれて開き、内部から5人が次々に飛び出して来るシーンが見られる）。ゴワッパーの基地でもあり、全高30mの機体ながら、内部に各マシンや強化パーツを製造可能な非常に高い生産能力を持つ工場施設も有する。鈍重な外見だが高い機動力を持ち、それを活かした格闘戦で敵を倒す。大洗博士の遺志をメカ頭脳（メインコンピュータ）に記録しており、コックピット中央にあるシートから博士の立体映像が出現、5人に指令を出す。また乗員無しでの自立行動が可能だった。第23話でメカ頭脳が大破、以後大洗博士の意思が現れなくなり、5人は残された設計データからゴーダムを改造し、独自の判断で戦わざるを得なくなった。物語終盤、ジゴクダーを倒した際の衝撃で回路が回復し、ゴワッパーたちへの労いの言葉を徐々に発した。ゴーダムのデザインは当時、タツノコプロに在職していた大河原邦男によるもので、大河原がデザインした初の主役ロボである。当時のアニメ作品の巨大ロボに比べ、武骨で重々しいデザインは、前年に製作された作品『宇宙の騎士テッカマン』の脇役（準主役）ロボであるペガスに共通する。またほかの合体ロボと違い、メンバーの個別マシンとは別に成立しているため、5人が揃って操縦する場面はそれほど多くなく、留守番しているメンバーが単独操縦で巨大メカを倒した事もある（この担当はゴエモンが多い。代表例として第30話）。メンバーが出揃ってるときも大洗博士が独自に移動・戦闘を行ってゴワッパー5を助けたりと臨機応変に運用されている。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



# ゴワッパ-5 ゴ-ダム

## 【登場人物】

### ゴワッパ-5

エド市の「トアル団地」に住む、仲良し5人の少年少女たちで結成された冒険集団。危険な大渦に囲まれて上陸困難な奇顔島への冒険でゴ-ダムを発見したことから、地球を守る戦士となる。このことは、家族や学校にも秘密である。ゴワッパ-5の面々は全員、お揃いのつなぎ風のファッションとおかつぱの髪型の姿で登場する。武器として独楽型の飛び道具である「スパークトッパー」や銃を内蔵した「ゴワッパ-ガン」を携帯している。「了解」を意味するコールとして「ゴ-ダム」が使われる。

### 【岬 洋子 (みさき ようこ)】声 - 二木てるみ

ゴワッパ-5のリーダーで、紅一点。エイブレーンの操縦士。中学3年生。気が強いが気立ては良く、皆の姉代わりとして面倒を見る。スポーツ万能で、必殺技は回し蹴り。一人称は「あたい」。パーソナルカラーは赤。戦闘服の胸のマークは男性用が「スペード」であるのに対し、洋子のみ「ハート」となっている。

### 【津波 豪 (つなみ ほう)】声 - 安原義人

ゴワッパ-5のサブリーダー。通称「ゴ-」。ゲソマシ-ンの操縦士。小学6年生。熱血漢で、オッチョコチョイだが勇気が有り、明るく前向きな性格。パーソナルカラーは青。洋子の不在時、および実戦では豪が指揮を取る。

### 【亀山 大吉 (かめやま だいきち)】声 - 肝付兼太

ゴワッパ-5のメンバー。タートルタンクの操縦士。小学4年生。ゴワッパ-の怪力自慢で、必殺技は張り手と頭突き。やや行動がワンテンポ遅れるのが欠点。パーソナルカラーは黄。

### 【小石川 五右エ門 (こいしかわ ごえもん)】声 - 小宮山清

ゴワッパ-5のメンバー。通称「ゴエモン」。ヘリマリ-ンの操縦士。小学2年生。天才発明家で、指先が器用だが、性格は気弱で非暴力主義である。ゴ-ダムの改造後は合体用パーツの製造・射出を担当する。パーソナルカラーは緑。

### 【河口 のり助 (かわぐち のりすけ)】声 - 千々松幸子

ゴワッパ-5のメンバーにして最年少(6歳)。通称「のりっぺ」。ヤドカリジ-プの操縦士。単独での活躍は少ない。父はタクシーの運転手。アザラシ親子との仲がいい。パーソナルカラーは赤紫。出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

## 【スタッフ】

企画 - 鳥海尽三、酒井あきよし

原作 - タツノコプロ企画室

雑誌連載 - たのしい幼稚園、おともだち、冒険王

総監督 - 鳥海永行

キャラクターデザイン - 天野嘉孝

メカニックデザイン - 大河原邦男

制作協力 - サンライズ

プロデューサー - 後藤武彦 (NET、第24話 -)、永井昌嗣

制作 - タツノコプロ、朝日放送 (第1話 - 第23話)、NET (第24話 - 第36話)

# 1976年





話数	サブタイトル	脚本	演出	作画監督	話数	サブタイトル	脚本	演出	作画監督
1	ゴワッパー5出動せよ!	鳥海尽三	鳥海永行	須田正己 二宮常雄	19	超兵器! ハネポンダー	永田俊夫	大貫信夫	坂口尚 中島京子
2	出たか! ネンドロイド	久保田圭司	鳥海永行	湖川滋 木下ゆうき	20	合体獣! シャチホコラー	陶山智	上原一夫	山崎和男 山田政紀
3	さがせ! 地底魔人	久保田圭司	九里一平	二宮常雄 平山則雄	21	疾風! チテイライダー	陶山智	西牧秀雄	湖川滋 木下ゆうき
4	たたけ! ドカンパー	永田俊夫	原征太郎	須田正己 江村豊秋	22	三段変身! ドクンガー	山本優	西牧秀雄	昆進之介 江村豊秋
5	くだけ! ユサブランカー	永田俊夫	西牧秀雄	湖川滋 木下ゆうき	23	マグダーの最期	久保田圭司	鳥海永行	二宮常雄 平山則雄
6	ぶっつぶせ! アリジャンボ	永田俊夫	大貫信夫	上村栄司 牧由美	24	砂魔人! スフィンガー	滝三朗	富野喜幸	昆進之介 木下ゆうき
7	海の悪魔ハイザブン	山本優	野村和史	福田皖 清山滋崇	25	地獄花! キューコンダー	堀田史門	西牧秀雄	坂口尚 中島京子
8	強敵! モスンダー	田口章一 中原朗	鳥海永行	二宮常雄 江村豊秋	26	大出現! ジャンボ・キノココ	毛利元	富野喜幸	湖川滋 江村豊秋
9	挑戦! オトガート	永田俊夫	富野喜幸	須田正己 江村豊秋	27	巨大ロボット! ペアズリー	久保田圭司	西牧秀雄	"野崎恒仲 長谷川憲生
10	どこだ! 地底秘密基地	久保田圭司	西牧秀雄	湖川滋 木下ゆうき	28	幻怪獣! ミエンガー	山本優	富野喜幸	二宮常雄 平山則雄
11	炎の決闘! ジムグリラ	陶山智	富野喜幸	湖川滋 沼尻東	29	大暴れ! コンガーキング	毛利元	鳥海永行	昆進之介 江村豊秋
12	突撃! モグラック	田口章一 中原朗	上原一夫	山田政紀 富沢雄三	30	岩石巨人! ジャリアント	堀田史門	西牧秀雄	木下ゆうき 長谷川憲生
13	炎の悪魔! オオリューダー	久保田圭司	富野喜幸	二宮常雄 平山則雄	31	大攻撃! マブッダー	山本優	富野喜幸	湖川滋 平山則雄
14	大攻撃! サンドフーン	山本優	大貫信夫	坂口尚 北条昌子	32	吠えろ! ゴーダムタイガー	堀田史門	西牧秀雄	鎌田百合子 小国千代子
15	大追跡! パトンボー	久保田圭司	鳥海永行	須田正己 木下ゆうき	33	はじけ! パチンガーX	陶山智	鳥海永行	二宮常雄 平山則雄
16	襲撃! 謎の巨大魚	久保田圭司	上原一夫	山崎和男 山田政紀	34	大作戦! ゴーダム・ジャック	堀田史門	富野喜幸	長谷川憲生 昆進之介
17	怒れ! タートルタンク	小出良一	西牧秀雄	湖川滋 沼尻東	35	モーレツ! 巨大カブトザー	永田俊夫	西牧秀雄	湖川滋 平山則雄
18	逆襲! ゴーダムレーザー	滝三朗	鳥海永行	二宮常雄 江村豊秋	36	決戦! ジゴクダー	滝三朗	鳥海永行	二宮常雄 奥野芳久

【地底軍団ドロンジャー】  
地底魔人で構成された軍団。以前から存在していた地底人の国を地底魔人の皇帝ジゴクダーが支配して結成された軍事組織である。劇中、実際に地底国に行った志摩と豪はドロンジャーに抑圧される一般の地底人たちを目にしており、後に地底人のロマンダにより地上侵略は支配階級である地底魔人の方針であり、地底人の総意ではない事が語られている。作戦は皇帝ジゴクダーや総司令官の元、極秘裏にネンドロイドや巨大メカによって行われ（地底人が参加する事は殆ど無い）、さらに地上から科学者などの人間をさらって奴隷にする。そして用済みになった者や秘密を知った者は、老若男女問わず事故に見せかけて抹殺されてしまう。工作によって巧妙に情報操作もされており、シリーズ前半ではその存在はゴワッパーや協力者（喋れないアザラシ親子を除く）にしか知られておらず、地底魔人の実在を周囲に訴えても信じて貰えなかった。シリーズ後半、地底魔人の存在を知った地上側によって戦闘は全面戦争の様相となり、さらに国際機甲師団が地底魔人の正体がバクテリア生命体「チテイバー」である事を突き止め、チテイバーの遺伝子を破壊する地底ミサイルによる殲滅戦が実行に移される。



【皇帝ジゴクダー】 声 - 渡部猛  
地底軍団ドロンジャーの首領。巨大チテイバーを核としながら、全身が超高熱火炎で覆われており、地熱の存在する所なら、無限のエネルギーを得て再生を可能とする。常に顔面の状態で部下に命令を下していたが、最終回で自らケンタウルスの姿に変形させて火山を割って出撃。ゴードムの何十倍もの大きさを誇る巨体から繰り出される猛パワーと火炎攻撃でゴードムを苦しめるも、北極に誘き出されたために全身が凍り付き、最後はジゴクダーの体内に突撃したゴードムから発射された抗バクテリア弾がチテイバー集合体を破壊。これによりとどめを刺され、肉体は氷山の下敷きとなった。名前の由来は「地獄」より。

【マグダー将軍】 声 - 寺島幹夫  
ドロンジャー軍団の総司令官。顔の上部を隠す仮面を付けている。次々とネンドロイドや巨大メカを製作・投入し、地上攻撃を遂行するがすべての作戦が最終的にゴードムとゴワッパーに阻止され、第23話で業を煮やしたジゴクダーにより粛正された。

【大將軍ドッグガン】 声 - 加藤精三  
マグダー将軍の後任。作戦に失敗した部下は容赦なく処刑し、また工作員として送り込んだロマンダごとゴードムをミサイルで葬り去ろうとするなど冷酷非情。自身の身体を溶岩状に変えて移動する能力を持ち、破壊されたメカからの脱出にも用いる。マグダーより攻撃的で、その姿をマグマに変えゴードムとも渡り合えるなど高い戦闘能力を持つ。初めて登場した第23話ではゴードムのメインコンピューターを損傷させ、大洗博士がゴードムとして行動出来なくさせ、ゴワッパー5に大打撃を与えた。その後は強化されたゴードムに阻止され、人間にドロンジャーの存在と秘密を知られ、挙句の果てに、第33話で抗バクテリア弾頭ミサイルをネンドロイド製造工場へ打ち込まれ、ネンドロイドの補充が不可能になるという、マグダー以上の大失態を見せた。第35話でゴードムモーラーから発射されたLD光線により頭部を吹き飛ばされ、肉体を再生できずに死滅した。名前の由来は「独眼竜」より。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

# ゴワッパー5 ゴードム

# 1976年